

提 案 概 要

実施期日	7月29日(火) 【午後】
部会名	小学校 外国語活動部会

1 提案テーマ 『どの子どもでも楽しめるコミュニケーション活動をめざして』

2 単元(題材) 「アルファベットをさがそう」 What do you want?

3 学年 第5学年

4 平成25・26年度神奈川県小学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

- ①積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する学習指導、評価及び教材・教具の工夫
- ・外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさや大切さを感じさせる指導・評価の工夫
 - ・外国語を積極的に伝え合う態度を育てる教材・教具の開発や工夫

5 学習指導要領との関連(内容項目)

第4章 外国語活動 第2 内容 [第5学年及び第6学年]

- (1)外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること。
- (2)積極的に外国語を聞いたり、話したりすること。

6 実践に向けての課題意識

ほとんどの児童は外国語(英語)での表現を自然に楽しむことができている。しかし、その一方で外国語を使って表現することに慎重になっていたり、日頃からコミュニケーションに苦手意識をもっていたりする児童もいる。そこで、児童の興味や意欲を刺激し、誰もが楽しめるような活動の中で、既習の表現を使って必然性のあるコミュニケーションを成立させたいと考えた。アルファベットの大文字の定着が良かったので、小文字の導入後、小文字を使って単語を作る活動(単語作りゲーム)を通して、自然に英語を使って活動できるような場の設定及び教材開発に取り組んだ。

7 実践の概要

○指導方法の工夫

- ・外国語(英語)の表現に慣れ親しむために、活動をいくつかの段階に分けて、丁寧に取り組んだ。
(例:単語カード → チャンツ → カルタ取り)
- ・コミュニケーションの必然性を意識した活動場面を設定した。(例:インタビューゲーム、カードゲーム)

8 成果と課題

【成果】

- ・外国語の表現を知り、慣れ親しむことによって、それらの表現を使ってコミュニケーションを図る楽しさを体験させることができた。
- ・繰り返し同じ表現を用いることによって、外国語の表現を声に出して言うことへの抵抗感をなくす、あるいは、軽減することができた。
- ・ローマ字の母音と子音の関係について理解できている児童に「英語の綴り」を体験させることができた。

【課題】

- ・児童の実態をより詳しく知り、その後の授業に活かすために、授業の終わりに「ふりかえりカード」を児童に書かせるなどして、個々の児童がその学習活動の中で「どのようなことができたのか」「どのようなことに気付いたのか」「どのような感想をもったのか」などについて授業者が知る手立てをもっていたほうが良かった。
- ・児童の活動に幅をもたせるため、また、ゆとりをもって授業の準備をするために、外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験させるための指導法について、そのバリエーションをより多くもつ必要性を感じた。

9 予想される協議の柱

- ・児童が積極的に声に出して使いたくなるような表現活動の指導方法について